
我らの時代に -スケッチ集-

ハインケル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

我らの時代に - スケッチ集 -

【Nコード】

N5521BA

【作者名】

ハインケル

【あらすじ】

短編集。ヘミングウェイはかつて、短編よりもずっと短い掌編を“スケッチ”と称したので自分もそれに倣うことにする。

先に書いておくが、本来のハードボイルドとは銃やアスファルト、車がなくても成立する。しかし、ここに掲載されている、および、これから上げられるであろう物語もハードボイルドと称されるものかもしれない。

それらはすべてミッキー・スピレインから始まった亜流であるこ

とを述べておく。

亜流のそれは、大藪春彦なども同じような流れにあり、この掌編集も亜流に分類されるものである。

第一章（前書き）

「或る射場、或る標的」

第一章

ボタンを押すと同時にマン・シルエットタイプの標的紙が一直線にまっすぐ遠ざかっていく。その距離は約25ヤードで、ピストルのアキュラシー・テストにはもつともよく使われる距離だった。地下に設けられた非合法のシューティング・レンジは四方八方がコンクリートに覆われ、ひやりとした空気が頬を撫でた。

左手に提げたガンケースを射台に置き、一挺の拳銃を取り出した。それは回転式拳銃で、銃身目一杯まで伸ばされたアンダーラグとベンチレーテッド・リヴを備えていた。天井から吊るされた白熱電球の光でガンブルーに仕上げられた銃身がキラリと反射する。8インチもの銃身の長さに相まってその蒼い輝きはなお美しさを増した。

シリンダー・ラッチを引き、輪胴弾倉をせり出させる。空のそれへ六発のブレットの尖った357マグナム実包　ホーナデイ・140グラムFTX　を放り込んだ。軟質樹脂の尖頭弾を持つそれは“レバー・レヴオリューション”の名どおり本来はレバーアクション・ライフルで用いるために開発されたもので、レバーアクション・ライフルで用いれば有効射程が向上する。が、拳銃で用いた場合でも銃口初速が向上するなどのメリットもあつた。また、集弾性も上々だった。

薬室が“熱く”なつた拳銃を両手で構える。ターゲット・ペーパーは動くことなくその場でピタリと動きを止めていた。

撃鉄を起こし、銃身上に取り付けられた倍率二倍のピストル・スコープを覗き込む。357マグナムは特性上、狙点より上に着弾することが多いため、少し下目に狙いを定めるスコープのレティクルの真ん中にマン・シルエットの頭部を重ねると同時に撃鉄は落ちた。引き金は軽かった。

357の轟音とともに銃身が跳ね上がる。が、4インチの二倍の長さを持つロングバレルとリユールド・スコープ。そして、黄金

色に輝くコルト・メダリオンの入れられたラバーグリップ　パツクマイヤー・C E L　がりコイルを融和し、さらにグリップ裏には真鍮製のバランスーが装着されるなど数々の対策が功を為したのか、制御できないほどの激しさではなかった。

反動で跳ね上がった銃身が水平に戻る際、慣性を利用してハンマーを起こす。こうすれば次弾からも引き金が軽くなり正確な射撃が可能になる。

着弾した位置が少し左にズレていたため、修正して再び撃つ。が、今度は右に行き過ぎたらしく、ヴィンテージ・ノブをR方向へと回した。それら照準器の調整と射撃を六発撃ちきるまで続け、標的紙を取り替えた。同時に薬室にも新しいホーナディの357マグナム実包を装填した。そして、初めの六発と同じく、すべてシングル・アクションで狙い撃った。

全弾を撃ち切った後、戻ってきた標的紙を確かめた。すると、思わずニヤリとした笑みを浮かべた。狙いどおり、六発の38口径弾はマン・シルエットの一点に集まって命中していた。“ヘッド・ショット”。人類の弱点の一つでもある頭部を尖頭弾は的確に射抜いていた。

穴の開いたターゲット・ペーパーを取り外すと、スコープの付いたパイソン・ハンターをガンケースにしまった。硝煙のせいか、どことなく初めより部屋の中が暖かく感じた。

荷物をまとめて射手は部屋を後にした。その手に握られていたパイソン・ハンターはかつて長官狙撃事件にて四度火を吹いたものの、未だ発見されていない凶銃だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5521ba/>

我らの時代に -スケッチ集-

2012年1月15日01時53分発行